

# 物価高営業も生活も圧迫

## 「作れば作るほど赤字」

東京・大田



町工場が集まる「もの」の町大田が、物価高で苦しんでいる。大田区では「作れば作るほど赤字」の経営者が増えている。金も貯まらなくなり、生活も圧迫されている。

大田区で、一人で金儲け工業を営む吉岡弘史さん(60)は、油断の色を浮かべている。これまで仕事ができなかった。大田区で、一人で金儲け工業を営む吉岡弘史さん(60)は、油断の色を浮かべている。これまで仕事ができなかった。大田区で、一人で金儲け工業を営む吉岡弘史さん(60)は、油断の色を浮かべている。これまで仕事ができなかった。

と今年増すのが立派な「赤字」だ。なだけに、価格高騰の負担がのしかかる。大田区では、物価高で苦しんでいる。大田区では、物価高で苦しんでいる。大田区では、物価高で苦しんでいる。

### 巣鴨で街頭インタビュー



「コロナ禍で打撃を受けている中、買い物が苦痛です。食料品やガス代、ガソリン、灯油などの相次ぐ値上げで、生活が苦痛です。政府の対策は不十分です。東京都区に於ける生活苦は深刻です。」

## 年金7万円で食費2万

「年金7万円で食費2万」というのが、多くの高齢者の現実。食料品の高騰が、生活に大きな負担をかけている。政府の対策は不十分で、生活が苦痛です。

これは一番効果的。これが一番効果的。これが一番効果的。これが一番効果的。これが一番効果的。これが一番効果的。これが一番効果的。これが一番効果的。これが一番効果的。これが一番効果的。

東京都区の街頭インタビューの様子(左側が被験者)

## 東京・大田 業者悲鳴

1面のつづき



消費税減税を訴える板金・機械加工の仁木和雄さん（東京大田区）

「真鍮（しんちゅう）と銅の価格上昇が激しく、今年に入ってから3回も上がりました」というのは、東京都大田区の金属加工業の男性（79）です。据え置きが続いた単価が3月ごろやっと引き上がったところでした。

エレベーターのドアの部品をつくり続けて50年。工場には1969年製の機械があり、故障のたびに自分で修理しています。誤差が100分の5以内かどうかを見てわかると言います。

いま求められる物価高騰対策に消費税減税を率

## 消費税減税は切実

「最終的にはなくしてほしい。最低賃金が上がれば経済が回っていきま

す。日本共産党を含む野党には頑張ってもらいたい」と期待しました。

資材高騰の影響はさまざまな業種に及んでいます。垂木（たるき）や合板などの木材が急騰。ガラスやクロスまでもが高騰しています。生活必需品の価格が上昇する一方、労働者の賃金が上がらないため、消費者が簡易なリフォームを控える動きが予想されます。半導体不足による給湯器の納期遅れで工事がストップし、建築業者が資材の立て替え払いを強いられま

## 営業守る対策早く

東京士建一般労働組合の中村隆幸委員長は、他の産業に比べて賃金が安い建設業は何の保障もなく、消費税の負担割合はものすごく大きいと指摘。「参院選に向けた東京士建の要求の中に消費税減税、インボイス（適格請求書）中止を掲げて、それを実現するため政治を転換したい」と話します。

全国商工団体連合会（全商連）は11日に中小業者を対象にした原材料・仕入値の高騰・価格転嫁に関する緊急アンケートを実施しました。「赤字になる」「赤字にはならないが、経営が厳しくなる」を合わせて85%に上るなど、中小業者

が消費税増税、コロナ禍、物価高騰の三重苦に見舞われていることが浮き彫りになりました。民商・全商連は、小規模事業者が助け合い、励まし合って、営業と暮らしを守るために、全国各地で立ち上がっています。全商連は14日、経済産業省に要請し、フリーランスや小規模事業者は22日、インボイス中止国会内アクションを開催。全商連の中山眞常任理事は「中小業者への直接支援と既往債務の返済凍結、10年間に返済不要の追加融資などを実現し、消費税減税、インボイス中止を参院選の争点に押し上げたい」と述べました。